

2023 環境経営レポート



対象期間：2023年1月1日～12月31日

発行日：2024年6月30日

 松山株式会社



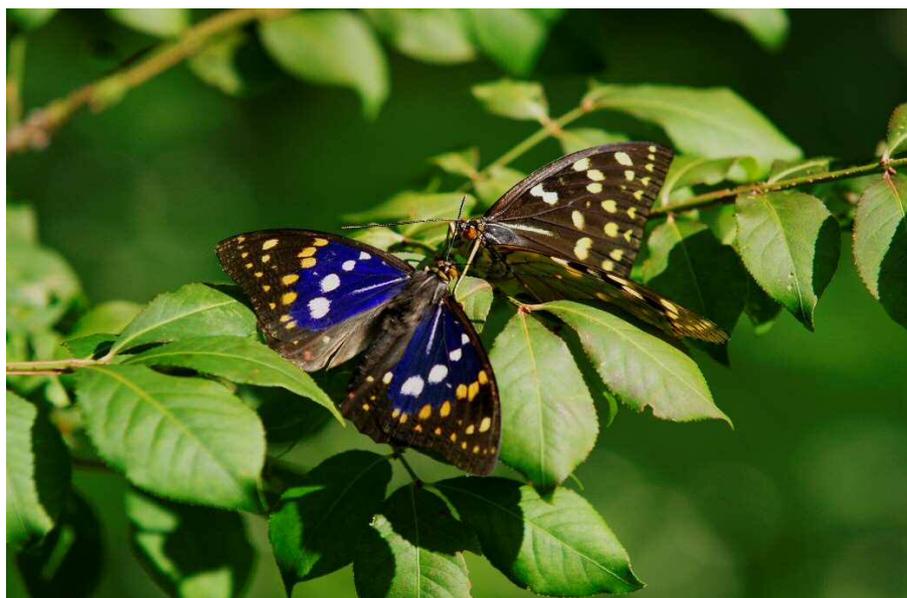
目次

(1) 理念	p. 1
(2) 組織の概要	p. 2
(3) 対象範囲	p. 2
(4) EA21 推進体制	p. 3
(5) 環境経営方針	p. 4 ~ 5
(6) 2023 年度 環境経営目標	p. 6
(7) 2023 年度 環境経営計画	p. 6
(8) 2023 年度 環境経営活動の内容と取組結果の評価(本社工場)	p. 7 ~ 11
(9) 2023 年度 環境負荷実績	p. 12 ~ 14
(10) 2024 年度 環境経営目標	p. 15
(11) 2024 年度 環境経営計画	p. 16
(12) 2023 年度 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	p. 16
(13) 2023 年度 環境活動報告(営業所、出張所、物流センター)	p. 17 ~ 26
(14) 代表者による全体の評価と見直し・指示	p. 27

(1) 理念

21世紀は環境と食の世紀といわれています。農業は環境と食を守る旗手です。農業を通して、美しい郷土、きれいな日本、そして地球環境保全に努め、循環型社会形成のために貢献することが松山株式会社の使命です。

国蝶「オオムラサキ」の生息している、美しい自然を保護し、地域、長野県、日本、地球規模で求められている環境対策に貢献します。



(2) 組織の概要

(2023 年末時点)

① 事業者名および代表者名

松山株式会社 代表取締役社長 松山 信久

② 所在地

本 社	長野県上田市塩川 5155
物流センター	長野県上田市塩川 2949
北海道営業所	北海道岩見沢市栗沢町由良 194-5
旭川出張所	北海道旭川市永山北 1 条 8 丁目 32
帯広出張所	北海道河西郡芽室町東芽室北 1 線 18 番 10
東北営業所	宮城県大崎市古川清水 3 丁目石田 24 番 11
関東営業所	栃木県栃木市大平町横堀みずほ 5-3
長野営業所	長野県上田市塩川 2949
岡山営業所	岡山県津山市瓜生原 757-4
九州営業所	熊本県宇土市松山町 1134-10
南九州出張所	宮崎県都城市甲斐元町 3389-1

③ 事業の概要

農業機械の開発、設計、製造、販売

④ 事業の規模

売上高	220 億円
全従業員数	345 名（認証対象）
本社工場延べ床面積	23,514 m ²
北海道営業所	1,797 m ² 、旭川出張所 969 m ² 、帯広出張所 511 m ² 、
東北営業所	4,433 m ² 、関東営業所 4,396 m ² 、長野営業所・物流センター 9,620 m ² 、
岡山営業所	3,535 m ² 、九州営業所 4,156 m ² 、南九州出張所 897 m ²

⑤ 環境保全関係の責任者・担当者連絡先

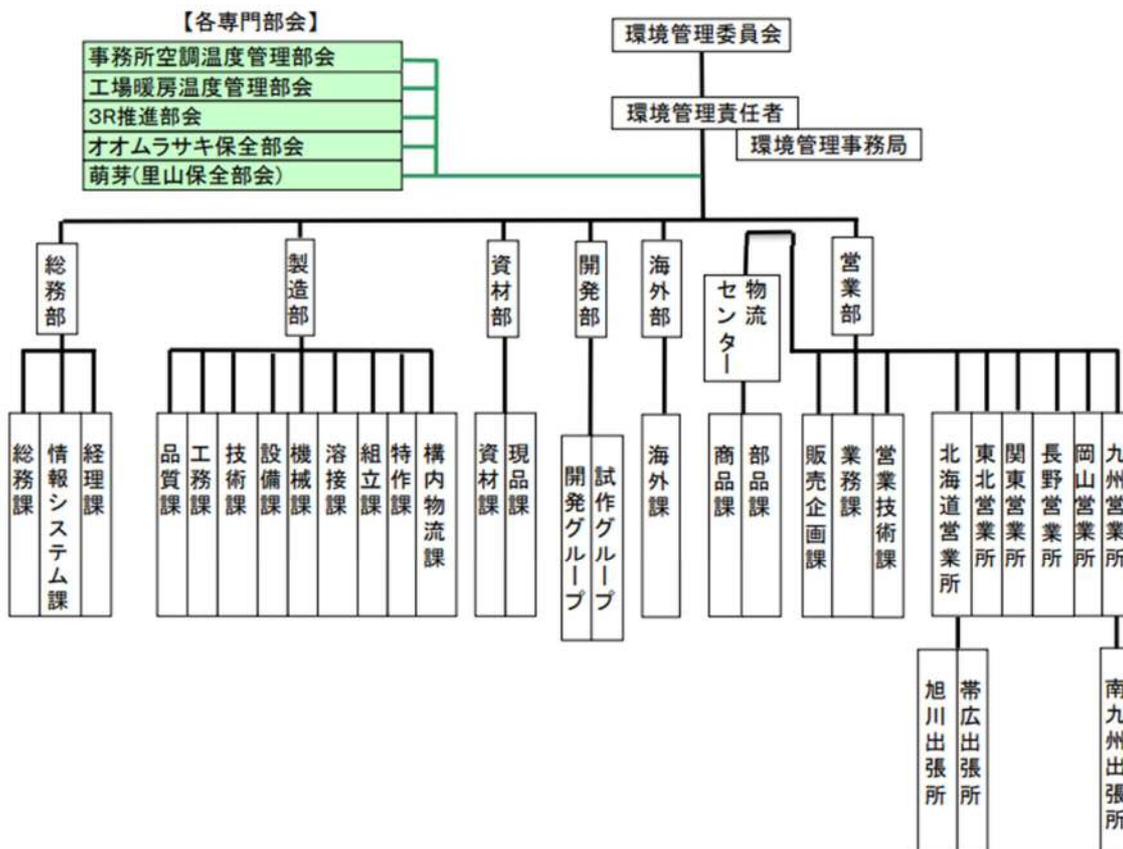
責任者	総務部	大池 賢治
担当者	総務部経理課	小林 晋也
	総務部総務課	小畑 真人
連絡先	TEL 0268-42-7500	
	FAX 0268-42-7520	

(3) 対象範囲

- ① 対象組織 本社工場、全営業所、全出張所、物流センター（全組織）
- ② レポートの対象期間 2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日
- ③ 発行日：2024 年 6 月 30 日

(4) EA21 推進体制

EA21環境活動組織図



環境管理委員会

委員長	代表取締役社長	松山 信久
副委員長	取締役総務部長	大池 賢治

事務局	総務副部長	清水 信男
	総務課長	中澤 明義
	経理課主任	小林 晋也
	総務課主任	小畑 真人
	総務課	山崎 裕介

統括	常務取締役	村山 生夫
総務部	取締役総務部長	大池 賢治
製造部	取締役製造部長	徳武 雅彦
資材部	取締役資材部長	田中 計宏
開発部	取締役開発部長	池田 俊朗
海外部	取締役海外部長	太田 誠
営業部	取締役営業部長	上野 功

環境管理委員会専門部会

部会名	事務所空調温度管理部会
部会長	総務課長 中澤 明義
部会名	工場暖房温度管理部会
部会長	機械・特作課長 池野 恒男
部会名	3R 推進部会
部会長	現品課課長補佐 瀧澤 政和

部会名	オオムラサキ保全部会
部会長	組立課 山浦 淳一
部会名	萌芽(里山保全部会)
部会長	構内物流課係長 竹内 健二

(5) 環境経営方針

■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。

資源の有効活用・環境負荷の軽減・低燃費・減肥料栽培体系など、環境にやさしい農業を支援する作業機を開発します。

■地球温暖化を防ぐための施策をおこないます。

電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油の使用量を削減し、二酸化炭素の排出を抑制し、省エネルギーに努めます。

太陽光発電システムで発電した電力を最大限自家消費し、電力の購入を削減します。

製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。

雨水の活用を図り、上水道の使用量を削減します。

■リサイクルや使用抑制を図り、限りある資源を大切に使います。

紙の分別をおこない、再資源化を図ります。

再生紙の使用を徹底します。

紙の使用量を削減します。

鉄枠を再利用し、木材の梱包を削減します。

■調整池の水質を浄化し富栄養化を防ぎます。

■グリーン購入を進めます。

■広大な社有林の管理に努めます・・・自然にやさしく接します。

除草剤や農薬の使用場所を限定し、社有林内では使いません。

間伐・植樹を計画的におこない、遊歩道を整備し里山を地域に開放します。

松くい虫被害を環境にやさしい施策「樹幹注入」で食い止め、後世に赤松林を残します。

「オオムラサキ」の保護をおこない、観察会等を実施し地域と共有します。

■法を守ります。

環境関連法規や地域条例を遵守し、地域社会の環境保全に寄与します。

■化学物質を適正に管理します。

■持続可能な社会を実現するため、SDGsの目標達成を目指します。

松山株式会社は、以上の方針に基づいて社員全員で活動します。

2022年1月1日改訂

2004年11月15日制定

松山株式会社

代表取締役社長 松山 信久

改訂履歴

- 2007年1月1日 ■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。・・・追加
■調整池の水質を浄化し富栄養化を防ぎます。・・・追加
- 2008年1月1日 ■グリーン購入を進めます。・・・追加
- 2011年1月1日 ■化学物質を適正に管理します。・・・追加
- 2012年1月1日 製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。・・・追加
- 2013年1月1日 制定者の社名から“本社工場”を削除した。
- 2015年1月1日 “古着・古毛布と集め、再利用します。”を削除した。
- 2018年1月1日 エコアクション21ガイドライン改訂に伴い、名称を変更。
- 2019年1月1日 環境経営方針の項目を実績と統一した。
- 2020年1月1日 鉄枠を再利用し、木材の梱包を削減します。・・・追加
- 2021年1月1日 ■持続可能な社会を実現するため、SDGsの目標達成を目指します。・・・追加
- 2022年1月1日 太陽光発電システムで発電した電力を最大限自家消費し、電力の購入を削減します。・・・追加

(6) 2023 年度 環境経営目標

2023 年度以降の目標値（前年比） 年間（1～12 月）

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
電力使用量（kwh/年）	維持	維持	維持
ガス使用量（t/年）	維持	維持	維持
ガソリン使用量(l/年)	2%削減	2%削減	2%削減
軽油使用量(l/年)	2%削減	2%削減	2%削減
灯油使用量(kl/年)	2%削減	2%削減	2%削減
燃やすしかないゴミの焼却量(kg/年)	維持	維持	維持
鉄粹回収量(t)	維持	維持	維持
上水道使用量(t/年)	維持	維持	維持
化学物質使用量 エチルベンゼン(kg/年)	維持	維持	維持
キシレン(kg/年)	維持	維持	維持
トルエン(kg/年)	維持	維持	維持
グリーン購入	グリーン購入推進		
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計		

(7) 2023 年度 環境経営計画

2023 年度は以下の項目に取り組みました。

項目	取組内容
電力使用量	省エネパトロールの実施、節電対応、太陽光発電の利用、電灯のLED化
ガス使用量	事務所温度管理、ウォームビズ・クールビズの実施、熱中症指数計の導入
ガソリン・軽油の使用量	安全運転の推進、WEB 会議システムの活用
灯油使用量	工場温度管理、温度管理表の適時改善
燃やすしかないゴミの焼却量	紙分別の徹底、3Rの推進、ペーパーレスの推進
鉄粹回収量	積極的に回収を行う
上水道使用量	雨水利用、漏水のチェック
化学物質の使用量	塗料の加温化、適正管理
グリーン購入	購入推進
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計

(8) 2023年環境経営活動の内容と取組結果の評価(本社工場)

推進項目	主要な活動内容	取組み結果	担当部門
環境保全型農業の支援	1. 作業時に排出されるCO2を削減する (SDGs重点取組項目)	<p>スマートフォン用アプリ「Niplo Vision」(あぜぬり機版)の開発により、①機体の前傾・後傾状態が正確にわかるようになったため、機体の作業姿勢の調整がしやすくなり、本来の機能である硬いあぜを容易に作る事ができるようになった。②また作業者自身が乗っているトラクタに最適なあぜぬり機のオフセット量が確認できるため、この値に合わせる事でオフセット量の設定にかかる時間を短縮できるようになった。その結果作業時間の短縮及びトラクタのCO2排出量の削減につながった。</p> 	開発部
		<p>中小型トラクタ用のグランドロータリーシリーズ(SKS、SKLシリーズ)に、100PSを超えるトラクタに適応させたSKDシリーズを製品化した。グランドロータリーは耕耘部カバー内部の形状を見直し空間を持たせ、さらに反転性に優れた専用の耕耘爪で地上部にある植物残渣等を土中にすきこむ能力が高く、炭素の土中貯留や「土づくり」の観点からより環境保全型農業に貢献するロータリーを提供できるようになった。</p> 	
		<p>リターン畦塗機SZR,DZR,LZRシリーズをモデルチェンジした。畦の肩部を従来機より固く塗る事ができるようになった。そのため漏水が減ることで除草剤の効きが向上し、除草剤の散布回数を低減できる可能性が生まれるとともに用水の水質汚染を防止につながり、環境保全にも貢献できるようになった。</p> 	
	2. 梱包鉄枠の再利用	製品を運ぶ鉄枠について出来る限り回収を行い、再利用に努めている。	営業部
<p>【評価】ICTを活用したスマート農業の開発に力を入れ、より効率的な作業を実現させている。また、土づくりの観点からは、環境負荷を軽減した持続的な農業の開発に力を入れている。</p>			

二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減(前年維持)	1. 省エネパトロールの実施	年3回実施し、 unnecessaryな電気の消灯、使用していない機械の電源オフ、人がいない箇所の暖房器具のオフ、整理整頓等の指導をした。	製造部	
		2. 再生可能エネルギーの利用	太陽光発電システム(100kW)を導入し、本社・工場にて使用している。	総務部	
		3. ライトダウンキャンペーンの実施	CO ₂ 削減/ライトダウンキャンペーンを行った。6月7日、7月12日をノー残業デーとし、6月27日は家庭でライトダウン(夜8時~10時)を行った。		
		4. 構内街路灯のLED化	構内街路灯400w×4台の水銀灯をLED化した。		
		5. 照明のセンサー化	工場内トイレの照明をセンサー感知式に変更。		
		4. ノー残業デーの実施	適切な働き方の実現と省エネを目的として、月1でノー残業デーを実施した。		
		【評価】電力使用量前年比99%と横ばいであったが8月以降に新塗装工場が稼働したことを踏まえ、節電に取り組みしていたと評価できる。街路灯については駐車場含め構内LED化がほぼ完了した。SDGsの重点取組項目でもある工場内のLED照明導入を進め更なる省電力化を目指していく。			
	ガス及び灯油使用量の削減(前年維持)	1. 温度管理に対する意識高揚	オリジナルポスター(4種類ずつ)を作成し、事務所内に掲示を行い、社員にクールビズ・ウォームビズを呼びかけた。		事務所空調温度管理部会
		2. 送風機の活用	会議室、営業部、開発部にてエアコンの空気が循環するように送風機を併用した。		
		3. ハイブリットファンの活用	空調機に取り付け、事務所内エアコンによる温度差を緩和させ効率化する。		
		4. ガス使用量の把握	事務所内エアコン用ガスの使用量を調べ、活動の基礎データにした。		
		5. 熱中症指数計の活用	熱中症指数計を導入し、エアコンの運転を開始する基準を明確化した。		
		6. 新塗装工場稼働	焼き付け温度が下げることでガスの使用量を低減した。		
		【評価】LPG使用量は11%削減となった。主な要因として、8月以降の新塗装工場の稼働に伴い塗装焼き付け温度が低くなったことが挙げられ、これについては効果ができていると評価できる。塗装工場が通年稼働する2024年以降はさらなる削減に期待ができる。			
1. 温度管理表の運用	工場内暖房使用基準について温度管理表に従い実施した。	工場暖房温度管理部会			
2. 温度データの把握	工場各職場の温度データを取り、活動の基礎データとした。				
3. シートシャッターの活用	冬場はインターロック機構を設定し、手前のシャッターが閉じなければ奥のシャッターが開かない様になっている。	製造部			
【評価】灯油使用量は昨年比で4%増加、LPGは前年比で10%削減。LPGについては焼き付け工程の低温化によりもので効果可出ている。逆に灯油については、旧塗装設備が撤去された分の工場内熱源を補うため暖房使用量が増した。省エネに向け引き続き温度管理等を地道に継続する。					

ガソリン及び軽油の使用量削減(前年比2%削減)	1. 安全運転の推進	交通安全運動の呼びかけ、運転記録証明により該当者への指導、安全職場への表彰等啓発活動を行った。	総務部
	2. ハイブリット車両の運用	プリウス他、計10台を導入し運用している。	
	3. WEB会議システムの活用	WEB会議システムを活用し、移動することなく打合せすることができるようにしている。	
	【評価】ガソリンが17.4%増加、軽油は7%増加した。本社含めほとんどの営業所で同様の傾向にあり、活動がコロナ以前に戻りつつある中で、車での外出が増えたためと考えられる。引き続き安全運転の観点から長距離移動への注意喚起、燃費重視の余裕を持った運転の心がけ等を推進していき、使用燃料の削減につなげていく。		
生産効率の向上	1. 新塗装工場稼働	新塗装工場が8月より本格稼働開始。レイアウト変更、塗装ロボットの導入、ストレージ設置等により生産能力が向上。また、2液ウレタン塗料(特化剛フリー)への変更でVOC排出量を削減。	製造部
	2. 製造ラインデータの収集と見える化	溶接・組立ラインの機器をネットワーク化し、タッチパネルディスプレイなどを導入。様々な情報の見える化、情報間の因果関係を明確化し、原価低減とリードタイム短縮を定量的に評価可能にした。	
	3. QRコードリーダーの活用	QRコードリーダーで製品の情報をPLCへ転送することにより、製品のデータ管理や記録が可能となった。台数を増やしてさらに効率化を図っている。	
	4. 生産システムの活用	生産システム(MCframe)を活用して、生産現場の効率化、リードタイムの短縮、生産管理のレベルアップ、原価システムの見直し、原価低減、生産現場の見える化などが可能になった。	
	5. 100%良品化活動の実施	製造部、資材部の各職場で、製造の不良や営業からのクレーム情報をテーマに改善活動を行い、その成果をまとめて発表する発表会を行っている。	
	6. ハンディーターミナルを使用した検品システムの導入	出荷時にハンディーターミナルを使用し部品を照合することで誤出荷を8割削減。無駄な輸送費や人件費を減らすことができた。	
	【評価】新塗装工場建設に伴う塗料の変更でVOC排出量を削減。生産ラインの見直しと、IT技術のさらなる導入で生産効率を向上させ、工場稼働時間の削減、電力燃料使用量削減と二酸化炭素排出抑制を推進する。		
燃やすすかないゴミの削減及びペーパーレスの推進(前年維持)	1. 紙分別を行う	業者の基準に従い紙を分別し、再生可能な物は業者の再生工場へ回して貰った。	3R推進部会
	2. ゴミゼロ運動に参加	社員38名で周辺公共道路のごみ拾いを行い、約28kgのごみが集まった。 	総務部
	3. 窓付き封筒の窓部の素材変更	給与明細の窓部分の素材をプラスチックから紙に変えたことで紙資源として捨てるできるようになり、燃やすすかないゴミの削減に貢献している。	
	4. 社服の変更	通気性の良い素材の社服に変更したことでクールビズにつながった。また、交換した社服を回収しリサイクルできるようになった。	
	5. eilシステムの運用	営業系の業務を紙からデータ管理に移行し、部品受注や出荷伝票で使用していたA5帳票やストックフォームが大幅に削減している。	
	6. デュアルモニターの活用	資料を参照しながら作業をする際、デュアルモニターを活用することで資料を紙に印刷する頻度を減らしている。	
	7. グループウェアの導入	新しいグループウェア「desknet'sNEO」を導入し、ワークフローを活用して紙の申請書や回覧を減らしている。	
	【評価】燃やすすかないゴミの排出量が740kg減少できた。分別、リユース、リサイクルの徹底はできている。グループウェアで社内申請や回覧文書のペーパーレス化も浸透している。今後もリデュース(減らす)に着目し、廃棄物の削減を図る。		

調整池富栄養化防止		1. 水質検査	定期的に実施している。	製造部
		2. 菱の実によるpH上昇抑止	菱の実で池を覆うようにし、植物プランクトンの光合成によるpH上昇を抑えている。	
		【評価】富栄養化は工場排水に原因がある場合が多いと言われている。水質検査の数値を分析し、富栄養化防止につなげていきたい。		
総排水量の削減	上水道量の削減(前年維持)	1. 雨水利用	1,000ℓタンクを2ヶ設置し、雨水を利用して植栽の水やりに用いた。	総務部
		2. 漏水チェック	毎週月曜朝のまだ社内に人がいない時間帯に水道メーターが動いていないのを確認している。	
		【評価】2%増加。本年も漏水は無くほぼ前年並みを維持できてた。早期に漏水を発見するため、水道メーターのチェックを続けていく。		
グリーン購入の推進		1. エコマーク・再生材商品の購入推進	エコマーク商品・グリーン購入法適合商品を優先して購入している。	総務部
【評価】近年、購入対象商品の多くが環境に配慮した物となってきている。				
里山の環境を整え自然との共存を図る(SDGs重点取組項目)	社有林管理	1. 社有林(里山)の地域への開放	会社休日には社有林を地域の里山として開放し、遊歩道散策・自然観察のために訪れることができる場とした。	総務部
		2. 伐採木の活用	伐採した松くい虫被害木を用いて、木工作家に椅子やテーブルを作成、活用している。また状態の悪いものは暖房として薪ストーブの燃料として活用した。 	
		3. 松枯れ防止樹幹注入施工	75本の松に437本の薬剤を注入した。	
		4. 竹林の伐採間伐	日が入りにくなっていた竹林の伐採間伐を行い、日が入りやすくなった。	萌芽(里山保全部会)
		【評価】生物多様性豊かな里山の保護のため、今後も間伐を行い適度に手を入れていきたい。また、樹幹注入の効果で松枯れを防ぐことができている。		
	国蝶「オオムラサキ」の生育環境保全(乱舞を夢見で)	1. 羽化個体数の調査	7月の1ヶ月間敷地内にてオオムラサキの個体数調査を実施した。	オオムラサキ保
2. 「エノキ」の実生の調査		社員有志にて社有林内の実生のエノキや残したいクヌギ、コナラに目印のポールを立てた。併せてエノキに絡みついたツル草を刈り取った。(6月と9月に実施)		
3. 観蝶会の実施			総務部	
4. 上田創造館主催オオムラサキ観察会の協力				
5. 社有林・遊歩道の看板を設置		来社されるお客様に社有林、遊歩道、オオムラサキの保護などの活動を紹介する看板を設置している。 		
【評価】個体数調査では1日の平均個体数は大きく減少。温暖化による気温や地熱の上昇に影響を受けて蛹が羽化できない等の影響が考えられます。引き続き、SDGsの重点取組項目でもあるので間伐や下草刈り等環境整備に地道に取り組んでいく。				

環境上の緊急事態への準備および対応	1. 複合防災訓練の実施	地震・火災時の避難訓練、消火訓練と環境負荷の災害を想定して防災訓練を10月18日実施した。環境負荷災害訓練は「灯油・オイル・廃油・薬品の漏洩」、「塗料庫からの出火」を想定し、対応方法の検討を行った。 	総務部
	2. 営業所・出張所の災害時電源確保の対応	災害時におけるコンピューター関係の電源確保の為、全ての営業所と出張所に非常用電源を設置している。	
	3. 災害時対応備蓄物資の準備	各営業所にて災害発生直後から3日、本社でも1日対応できるよう物資を備蓄し、発電機、石油ストーブを備えている。本社ではソイジョイを常備し、普段は小夜食とする「ローリングストック」を行っている。	
	4. AEDの設置(更新・追加)	本社・各営業所・物流センターのAEDを7台追加、1台更新し、AEDの講習を行った。	
	5. 消火器の更新	消火器を16本更新をした。	
【評価】大地震などの災害に対する体制が構築されてきた。今後、消防機器の老朽化したものから随時更新していく。			
団体への支援	1. 小学生への環境活動の紹介	本社工場見学、社有林の紹介等 小学校2校、46名に参加いただいた。	総務部
	2. ハナサカ軍手プロジェクトへの協賛	信州大学繊維学部内任意団体「ハナサカ軍手プロジェクト」へスポンサーとして支援している。	
	3. 地域の小学生向け産業図鑑への協賛	上田市・東御市教育委員会後援で製作され、地域の小学生のキャリア教育に役立っている冊子「わたしたちの街の社会見学」に協賛している。	
	4. アイダホンプロジェクトへの協賛	特定非営利活動法人信州元氣塾の活動を通して、古本寄付による障がい者就労支援を行っている。	
【評価】地元団体への協賛支援、学校関係の工場見学受け入れ等を通して社会貢献や地域社会とのコミュニケーションに力を入れている。			
化学物質（PRTR制度対象物質）の適正管理（前年以下）	1. 化学物質の適正管理	化学物質は主に塗装関係に使用しているが、作業者の安全と無駄な使用が無い様に注意している。	製造部
	2. ディーゼルエンジン排気ガス浄化装置の導入	掘取機の調整・走行試験時にディーゼルエンジンから排出される排気ガスに含まれるNox、亜硫酸ガスを、75%除去することができる排気ガス浄化装置を導入している。	
【評価】エチルベンゼン51%、キシレン47%、トルエン21%の減少。塗装工場が8月に仮稼働し、下塗りを特化則フリー塗料に切り替えたことで化学物質の大幅な削減ができた。			

(9) 2023 年度 環境負荷実績

環境経営に取り組んだ結果、環境負荷実績は以下の通りになりました。

◇ 本社工場

目的項目	実施項目	単位	2021 年	2022 年	2023 年	
			実績	実績	目標	実績
二酸化炭素排出量の削減	電力(購入)使用量	kwh	2,047,575	2,193,528	2,193,528	2,177,071
		前年比	3.5%	7.1%	維持	-0.8%
		金額(円)	45,029,677	68,727,254	—	66,249,647
		前年比	2.3%	52.6%	—	-3.6%
	ガス使用量	t	300	325	325	291
		前年比	0.0%	8.3%	維持	-10.5%
		金額(円)	28,682,153	39,492,177	—	31,590,936
		前年比	38.8%	37.7%	—	-20.0%
	ガソリン使用量	ℓ	20,410	22,237	21,792	24,601
		前年比	-1.9%	9.0%	2% 削減	10.6%
		金額(円)	3,173,855	3,642,212	—	4,074,193
		前年比	6.5%	14.8%	—	11.9%
	軽油使用量	ℓ	39,207	36,387	35,659	37,655
		前年比	4.8%	-7.2%	2% 削減	3.5%
		金額(円)	4,252,371	4,401,661	—	4,540,527
		前年比	26.2%	3.5%	—	3.2%
灯油使用量	kℓ	69.8	95.6	94	99.8	
	前年比	-14.0%	37.0%	2% 削減	4.4%	
	金額(円)	5,189,398	8,333,774	—	9,188,045	
	前年比	-5.8%	60.6%	—	10.3%	
二酸化炭素排出量	(排出係数 0.382 kg-CO ₂ /Kwh: 中部電力ミライズ R5実績)	kg-CO ₂	2,104,994	2,339,850	—	2,254,282
		前年比	-7.9%	11.2%	—	-3.7%
廃棄物排出量の削減	燃やすすかしいゴミの焼却量*	kg	8,390	9,100	9,100	9,130
		前年比	-1.8%	8.5%	維持	0.3%
	鉄粹回収量	t	544	575	575	503
		前年比	-4.1%	5.7%	維持	-12.5%
総排水量の削減	上水道使用量	t	14,311	13,097	13,097	13,399
		前年比	-22.7%	-8.5%	維持	2.3%
		金額(円)	2,711,831	2,511,197	—	2,565,859
		前年比	-21.8%	-7.4%	—	2.2%

化学物質（PRTR 制度対象物質）の適 正管理	エチルベンゼン取 扱量	kg	6,330	4,191	4,191	2,054
		前年比	4.9%	-33.8%	維持	-51.0%
	キシレン取扱量	kg	9,045	6,140	6,140	3,267
		前年比	0.5%	-32.1%	維持	-46.8%
	トルエン取扱量	kg	871	828	828	654
		前年比	1.9%	-4.9%	維持	-21.0%

※燃やすしかないゴミの焼却量は長野営業所、及び物流センターの排出量込

※電力のCO₂排出係数は、「R5 中部電力ミライズ調整後排出係数 0.388kg-CO₂/kWh」を使用

◇ 全組織

目的項目	実施項目	単 位	2021 年 実績	2022 年 実績	2023 年 実績
二酸化炭素 排出量の削減	電気使用量	kwh	2,330,328	2,471,217	2,452,586
		前年比	3.1%	6.0%	-0.8%
		金額(円)	53,963,651	79,053,237	76,113,724
		前年比	1.7%	46.5%	-3.7%
	ガス使用量	t	306	335	297
		前年比	0.0%	9.5%	-11.3%
		金額(円)	28,199,789	41,325,257	32,812,854
		前年比	28.9%	46.5%	-20.6%
	ガソリン使用量	ℓ	37,579	41,835	49,120
		前年比	-7.9%	11.3%	17.4%
		金額(円)	5,537,021	6,647,648	7,839,504
		前年比	1.2%	20.1%	17.9%
	軽油使用量	ℓ	324,031	305,773	327,308
		前年比	-9.1%	-5.6%	7.0%
		金額(円)	27,626,495	32,288,856	33,681,981
		前年比	3.2%	16.9%	4.3%
灯油使用量	kℓ	96.6	122.0	125	
	前年比	-13.7%	26.3%	2.8%	
	金額(円)	7,541,370	11,026,315	11,833,873	
	前年比	-6.9%	46.2%	7.3%	
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,196,425	3,344,605	3,332,533
		前年比	8.5%	4.6%	-0.4%
	鉄粹回収量	t	544	575	544
		前年比	-4.1%	5.7%	-5.4%

総排水量の削減	上水道使用量	t	16,081	14,797	15,097
		前年比	-23.1%	-8.0%	2.0%
		金額(円)	3,199,963	2,994,263	3,041,565
		前年比	-21.3%	-6.4%	1.6%
化学物質(PRTR 制度対象物質)の適正管理	エチルベンゼン取扱量	kg	6,330	4,191	2,054
		前年比	4.9%	-33.8%	-51.0%
	キシレン取扱量	kg	9,045	6,140	3,267
		前年比	0.5%	-32.1%	-46.8%
	トルエン取扱量	kg	871	828	654
		前年比	1.9%	-4.9%	-21.0%

(10) 2024 年度 環境経営目標

- ・ 2024 年度も引続き「環境保全型農業」を支援する作業機の開発を行います。
- ・ 電力、上水道、ガス、灯油、ガソリン、軽油使用量の削減を図り限りある資源を大切に使用します。
- ・ 「燃やすしかないゴミ」の焼却量を増やさないようにします。
- ・ 紙を大切に使用します。
- ・ 製品を置いている鉄枠について出来る限り回収を行い再利用に努めます。
- ・ 国蝶「オオムラサキ」の生息は自然環境と深く結びついています。社有林の手入れを学び、四季折々地域に公開できる里山として育成を図ります。
- ・ 人の健康や生態系に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質について、適正に管理していることを定期的に確認します。
- ・ グリーン購入を進めます。
- ・ 各削減目標は昨年度の目標と実績を考慮し次の通りとします。

2024 年度以降の目標値（前年比） 年間（1～12 月）

	2024 年度	2025 年度	2026 年度
電力使用量（kwh/年）	維持	維持	維持
ガス使用量（t/年）	削減	削減	維持
ガソリン使用量(l/年)	2%削減	2%削減	2%削減
軽油使用量(l/年)	2%削減	2%削減	2%削減
灯油使用量(kl/年)	2%削減	2%削減	2%削減
燃やすしかないゴミの焼却量（kg/年）	維持	維持	維持
鉄枠回収量(t)	維持	維持	維持
上水道使用量（t/年）	維持	維持	維持
化学物質使用量 エチルベンゼン(kg/年)	削減	削減	維持
キシレン(kg/年)	削減	削減	維持
トルエン(kg/年)	削減	削減	維持
グリーン購入	グリーン購入推進		
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計		

(1) 2024 年度 環境経営計画

2024 年度は以下の取組内容にて活動を行います。

項 目	取 組 内 容
電力使用量	省エネパトロールの実施、節電対応、太陽光発電の利用、電灯の LED 化
ガス使用量	事務所温度管理、ウォームビズ・クールビズの実施、熱中症指数計の導入
ガソリン・軽油の使用量	安全運転の推進、WEB 会議システムの活用
灯油使用量	工場温度管理、温度管理表の適時改善
燃やすしつかないゴミの焼却量	紙分別の徹底、3R の推進、ペーパーレスの推進
鉄粹回収量	積極的に回収を行う
上水道使用量	雨水利用、漏水のチェック
化学物質の使用量	塗料の加温化、適正管理
グリーン購入	購入推進
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計

(12) 2023 年度 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023 年度環境関連法規の順守評価

No	法規制等の名称	要 求 事 項	順守評価
1	大気汚染防止法	VOC 濃度測定	○
2	水質汚濁防止法	排出水の汚染状態の測定	○
3	浄化槽法	法定検査、点検、水質検査	○
4	廃棄物処理法	マニフェスト、契約書、保管基準、報告書の提出	○
5	PRTR 法	排出量等の把握、届出	○
6	省エネルギー法	年間エネルギー量の算定	対象外
7	消防法	危険物保管、地下タンク点検	○
8	高圧ガス保安法	保安検査	○
9	自動車 Nox・PM 法	粒子状物質の排出基準、大阪府流入車規制	○
10	RoHS 指令	有害 10 物質の使用禁止	○
11	毒物及び劇物取締法	業務上取扱者規定	○
12	道路交通法	安全運転、運転日報、積載量	○
13	道路法	荷崩れ防止の為に固定ベルト使用	○
14	道路運送車両法	定期点検整備	○
15	フロン排出抑制法	簡易点検の実施	○
16	労働安全衛生法	決められた管理者の選任	○

関係機関や地域周辺等から過去 3 年間特に指摘はありませんでした。訴訟等も同様です。

(13) 2023 年度 環境活動報告(営業所、出張所、物流センター)

- ・ 北海道営業所
- ・ 旭川出張所
- ・ 帯広出張所

- ・ 東北営業所

- ・ 関東営業所

- ・ 長野営業所、物流センター（同一建物）

- ・ 岡山営業所

- ・ 九州営業所
- ・ 南九州出張所

以上の順で次頁より

令和5年度 北海道営業所 環境活動報告

作成日： 2024年3月26日
作成者： 小川原 朋広

2023年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2023年度目標	目標比(%)	2022年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	2,930	2,833	2,488	2,790	2,412	1,498	1,842	1,892	2,026	1,884	2,074	2,535	27,004	28,000	96	28,202	96
金額	145,941	121,815	110,495	118,766	103,009	85,366	96,681	94,979	100,190	95,146	106,085	124,732	1,303,205	(前年維持)		1,419,118	92
昨年使用実績	3094	2720	3160	3228	2689	1811	1639	1692	1565	1681	2425	2,518	28,202				
昨年金額実績	140,660	129,104	145,300	147,698	128,096	91,396	98,858	95,757	92,169	96,366	123,136	130,578	1,419,118				
ガソリン	96	108	188	0	100	124	102	97	137	58	219	101	1,329	1,100	121	1,128	118
金額	14,248	16,065	27,878	0	14,843	18,435	15,258	14,907	22,188	9,477	34,327	15,531	203,157	(2%削減)		170,643	119
昨年使用実績	31	25	55	106	102	137	164	57	178	127	83	63	1,128				
昨年金額実績	4,563	3,743	8,360	16,341	15,700	20,659	24,933	8,653	26,799	19,084	12,462	9,346	170,643				
軽油	1,750	1,650	2,008	2,855	3,017	2,184	1,486	1,275	1,460	1,839	1,361	1,410	22,095	2,300	96	23,848	93
金額	174,929	164,885	199,199	282,872	300,775	217,412	149,522	132,492	162,903	186,537	146,015	146,721	2,263,662	(2%削減)		2,435,490	93
昨年使用実績	1,235	1,259	1,812	3,114	2,601	2,303	2,152	2,010	2,082	1,997	1,775	1,528	23,848				
昨年金額実績	120,771	125,712	185,490	328,497	271,488	233,624	220,749	208,384	208,704	201,661	178,531	151,879	2,435,490				
水道(m ³)	9	11	11	24	24	21	35	59	35	59	159	159	199	100	159	107	149
金額	4,444	4,444	4,444	6,391	5,742	6,391	6,391	4,444	4,444	4,444	5,742	5,742	31,207	(前年維持)		23,061	135
昨年使用実績	9	9	9	28	25	28	28	21	21	15	15	107	107				
昨年金額実績	3,300	3,300	3,300	4,653	4,653	7,040	7,040	4,768	4,768	0	0	0	23,061	(前年維持)			
LPG(m ³ or kg選択)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.2	1.7	71	1.7	71
金額	2,521	2,420	2,420	2,521	2,519	2,420	2,420	314	2,514	2,420	2,420	2,520	27,429	(前年維持)		30,475	90
昨年使用実績	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.7	4.0			
昨年金額実績	2,725	2,420	2,621	2,624	2,631	2,525	2,524	2,523	2,420	2,521	2,420	2,521	30,475	(前年維持)			
灯油(l)	706	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	655	3,200	80	3,296	77
金額	77,860	60,060	60,060	60,060	60,060	60,060	60,060	60,060	60,060	60,060	60,060	60,060	283,651	(前年維持)		291,887	97
昨年使用実績	705	740	670	0	0	0	0	0	0	601	0	580	3,296				
昨年金額実績	55,061	59,422	56,749	0	0	0	0	0	0	56,855	0	63,800	291,887				
二酸化炭素排出量(kg-CO₂)													89747				
*排出係数: 0.533																	

次年度以降の目標

	2024年度	2025年度	2026年度	次年度取組内容
電気(Kwh)	27,000	26,500	26,000	・こまめに電気を消す。
ガソリン (l)	1,300	1,275	1,250	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る
軽油 (l)	22,000	2,150	2,100	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る
水道(m ³)	100	100	100	・節水に努める
LPG (m ³ or kg選択)	1.5	1.5	1.5	・節約に努める
灯油 (l)	2,550	2,500	2,500	・ストーブの温度を上げすぎない

2023年度 取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	・こまめに電気を消す。特に倉庫で人がいない時は必ず消す。就業後は必要などころだけ電気点灯。	削減できた。
ガソリン	・燃費の良い速度で走るが、走行距離が前年より増えた。	18%UPとなった。
軽油	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る	目標をクリアーした
水道	・洗車時、無駄に使わない。男子トイレのコックが壊れ、水が流ればなしてため11月の使用量が異常であった。	50%UPとなった。今後はないようにする
LPG	・給湯器温度設定を小にする。ほぼ使用していない状況。	削減となった。
灯油	・ストーブの温度を上げすぎない。冬は通温にした。	使用量は大幅削減できたが、灯油高騰で金額は現状維持となる。

2023年度 旭川出張所 環境活動報告

作成日： 2024年2月21日
作成者： 樋口

2023年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2023年度目標	目標比(%)	2022年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	1,325	1,277	1,223	1,275	1,158	825	1,004	1,116	1,004	869	1,092	1,234	13,402	13,000	103	12,853	104
金額	67,253	56,571	54,761	56,485	50,581	44,574	52,203	55,403	48,028	48,028	56,096	60,501	650,484	(前年維持)		669,277	97
昨年使用実績	1,292	1,275	1,268	1,397	1,098	855	1,028	898	826	777	915	1,224	12,853			12,853	
昨年金額実績	61,097	61,824	62,720	67,141	56,045	47,146	55,373	50,638	47,696	45,714	50,617	63,266	669,277			669,277	
ガソリン(ℓ)	214	261	322	398	443	279	328	393	336	319	202	231	3,724	3,400	110	3,382	110
金額	31,864	38,800	48,414	60,458	67,747	41,440	49,227	60,291	54,198	52,232	31,613	35,526	571,810	(前年維持)		511,140	112
昨年使用実績	243	204	251	404	249	277	319	320	346	261	236	272	3,382			3,382	
昨年金額実績	35,768	30,067	38,183	62,620	38,330	41,769	48,486	48,924	52,072	39,251	35,303	40,367	511,140			511,140	
軽油(ℓ)	18	0	265	126	74	469	278	590	498	518	587	754	4,177	1,600	261	1,591	263
金額	2,714	0	34,625	19,000	11,159	49,400	30,855	63,475	55,568	62,243	69,529	81,364	479,932	(前年維持)		180,397	266
昨年使用実績	156	72	255	141	90	176	225	127	61	90	126	72	1,591			1,591	
昨年金額実績	15,256	8,202	29,585	16,954	10,682	19,432	25,416	14,511	6,173	10,682	14,956	8,548	180,397			180,397	
水道(m ³)	地下水のため																
金額	なし																
昨年使用実績																	
昨年金額実績																	
LPG(m ³ (kg選択)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	100	8	100
金額	0	0	0	4,840	0	0	0	0	0	0	0	0	4,840	(前年維持)		4,510	107
昨年使用実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8			8	
昨年金額実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,510	0	4,510			4,510	
灯油(ℓ)	644	889	662	457	327	72	72	0	0	178	515	917	4,661	4,300	108	4,293	109
金額	73,417	100,779	75,061	51,834	37,524	8,474	8,474			22,593	60,106	106,922	536,710	(前年維持)		490,450	109
昨年使用実績	749	860	655	420	240	36	36	36	0	54	771	771	4,293			4,293	
昨年金額実績	79,896	94,499	75,403	50,868	28,743	4,237	4,237	4,237	0	6,356	52,305	89,669	490,450			490,450	
	二酸化炭素排出量(kg-CO2)													38,336		29,628	129

*排出係数：0.533

2023年度	取組んだ内容		取組んだ内容	次年度以降の目標				2026年度	次年度取組内容	
	取組んだ内容	及び		評価	2024年度	2025年度	2026年度		2024年度	2025年度
電気	昼休みに倉庫の電気消灯する等不要な電気の消灯		目標達成できなかった	13,000	13,000	13,000	13,000	不要な電気の消灯		
ガソリン	燃費の良い安全運転に努める		使用量増加した。4月～5月に繁忙期対応としてフォークリフトを1台借りたことも増加の一因となった	3,700	3,700	3,700	3,700	燃費の良い安全運転に努める		
軽油	フォークリフト不使用時はエンジンを切る。燃費の良い運転を心がける		取り組んだが目標を達成できなかった	4,000	4,000	4,000	4,000	フォークリフト不使用時はエンジンを切る		
水道	洗車時水を出しっぱなしにしない		節水した	地下水	地下水	地下水	地下水	水を出しっぱなしにしない		
LPG	給湯器の温度設定を下げる		ガスボンベ交換に至った	8	8	8	8	給湯器の温度設定を下げる		
灯油	ストーブ設定温度を上げすぎないように厚着する。サーキュレーターを使用して暖房効率をよくする		取り組んだが目標を達成できなかった	4,600	4,600	4,600	4,600	ストーブ設定温度を上げすぎないように厚着する。サーキュレーターを使用して暖房効率をよくする		

2023年度 帯広(出) 環境活動報告

作成日： 2024年1月25日
作成者： 栗原 壘

2023年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2023年度目標	目標比(%)	2022年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	487	345	302	348	416	361	412	494	429	322	363	350	4,629	5,000	92	4,811	96
金額	31,037	22,706	21,304	22,694	23,849	24,546	27,021	29,719	26,934	23,986	25,513	24,826	304,135	(前年維持)		320,633	94
昨年使用実績	682	575	492	427	386	307	357	349	326	281	300	329	4,811				
昨年金額実績	36,402	32,826	29,935	27,469	25,701	22,914	25,444	25,366	24,356	22,551	23,353	24,316	320,633				
ガソリン	90	67	152	189	241	164	125	152	156	178	147	117	1,778	1,650	107	1,666	107
金額	13,374	10,042	22,610	28,023	35,905	24,338	18,733	23,290	25,140	29,084	22,998	17,994	271,531	(2%削減)		252,050	107
昨年使用実績	120	127	130	208	241	175	145	66	67	127	182	78	1,666				
昨年金額実績	17,728	18,683	19,747	32,217	37,150	26,326	22,095	10,091	10,112	19,112	27,183	11,605	252,050				
軽油					138		63	38	42	125		42	448	300	149	110	409
金額					13,757		6,338	3,948	4,687	14,224		4,372	47,326	(2%削減)		11,259	420
昨年使用実績	0	0	0	33	33	0	0	0	0	0	0	43	110				
昨年金額実績	0	0	0	3,509	3,476	0	0	0	0	0	0	4,274	11,259				
水道(m)	2	4	4	5	7	9	5	5	5	6	4	5	61	40	152	39	156
金額	2,062	2,062	2,062	2,062	4,126	4,126	2,062	2,062	2,062	4,126	2,062	2,062	30,936	(前年維持)		28,842	107
昨年使用実績	3	2	2	3	6	7	4	3	3	2	2	2	39				
昨年金額実績	2,062	2,062	2,062	2,062	4,126	4,126	2,062	2,062	2,062	4,126	2,062	2,062	28,842				
LPG(m ³ or kg選択)	1	1.2	1.1	1	1.2	1.2	1.1	1.3	1.1	1.2	1.2	1.5	14.1	6	235	5.7	247
金額	3,850	4,092	3,971	3,850	4,092	4,092	3,971	2,013	3,971	4,066	4,066	4,422	46,456	(前年維持)		39,375	117
昨年使用実績	0.7	0.4	0.6	0.8	0.7	0.8	0.3	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	5.7				
昨年金額実績	3,339	3,124	3,223	3,454	3,377	3,498	3,619	3,003	2,882	2,882	3,124	3,850	39,375				
灯油(l)		206	87								120	601	1,014	850	119	829	122
金額		25,324	9,797								13,583	66,629	115,333	(前年維持)		70,590	163
昨年使用実績		132	132								282	416	829				
昨年金額実績			14,430								26,743	29,417	70,590				
													10,340			8,841	117

*排出係数： 0.533

二酸化炭素排出量(kg-CO₂)

2023年度	取組んだ内容 及び 評価		取組んだ内容				評価			
	取組んだ内容	評価	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	
電気	・こまめに電気を消す。	使用量、金額共に削減できた	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
ガソリン	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る。	燃費の良い走りが出てきている	1,600	1,570	1,550	1,550	1,550	1,550	1,550	
軽油	・急発進・急停車は行わない。燃費の良い速度で走る。	トラック使用量が増えた	300	300	300	300	300	300	300	
水道	・洗車時、無駄に使わない。	削減できなかった	40	40	40	40	40	40	40	
LPG	・給湯器温度設定を小にする。	削減できなかった	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	
灯油	・事務所の室温が上がってきたら、火力調節する。	削減できなかった	850	850	850	850	850	850	850	

次年度以降の目標

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
電気(Kwh)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
ガソリン (l)	1,600	1,570	1,550	1,550	1,550	1,550
軽油 (l)	300	300	300	300	300	300
水道 (m)	40	40	40	40	40	40
LPG (m ³ or kg選択)	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
灯油 (l)	850	850	850	850	850	850

次年度取組内容

電気	・こまめに電気を消す。
ガソリン	・急発進、急停車は行わない。燃費の良い速度で走る。
軽油	・急発進、急停車は行わない。燃費の良い速度で走る。
水道	・節水に努める。
LPG	・節約に努める。
灯油	・ストーブの温度を上げすぎない。

2023年度 東北営業所 環境活動報告

作成日： 2024年2月15日
作成者： 高橋ひとみ

2023年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2023年度目標	目標比(%)	2022年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	3,511	4,200	3,964	4,063	3,368	3,399	3,194	4,346	4,017	3,450	3,223	4,781	45,516	41,922	109	42,778	106
金額	133,340	142,285	133,649	131,758	103,167	100,306	110,569	140,264	128,685	118,695	109,356	150,160	1,502,234	(2%削減)	132	1,322,115	114
昨年使用実績	3,765	4,239	3,760	4,330	3,702	3,311	3,229	3,264	2,842	3,052	3,366	3,918	42,778				
昨年金額実績	98,046	111,572	104,678	118,526	106,204	98,242	99,336	106,870	100,910	111,092	122,136	144,503	1,322,115				
ガソリン(ℓ)	406	497	468	468	265	435	336	346	294	313	291	420	4,202	2,800	150	2,811	149
金額	61,194	74,478	70,696	19,352	39,988	65,322	51,075	53,873	48,199	51,323	46,284	65,164	646,948	(前年維持)	103	425,536	152
昨年使用実績	117	67	103	123	136	335	350	318	334	160	312	456	2,811				
昨年金額実績	17,277	9,801	15,608	19,275	20,878	50,829	53,260	48,667	50,206	24,077	47,213	68,445	425,536				
軽油(ℓ)	3,145	3,344	6,303	6,905	6,077	4,711	3,780	3,510	3,913	3,762	3,751	3,074	52,275	50,557	103	50,557	103
金額	316,703	342,180	641,054	698,560	615,382	475,180	383,047	271,700	9,727	7,266	40,281	333,916	4,256,466	(前年維持)	103	5,288,964	80
昨年使用実績	1,214	1,837	5,282	7,896	6,925	4,898	4,362	3,161	3,821	3,424	4,337	3,400	60,557				
昨年金額実績	129,975	191,267	560,839	839,111	735,232	501,852	458,334	335,224	386,625	361,722	445,317	343,466	5,288,964				
水道(m ³)	20	17	14	35	17	17	16	18	22	12	19	15	222	204	109	204	109
金額	6,308	5,735	5,162	10,208	5,735	5,735	5,544	5,926	6,828	4,780	6,117	5,363	73,431	(前年維持)	104	70,341	104
昨年使用実績	18	16	25	14	18	18	15	18	11	13	24	14	204				
昨年金額実績	5,926	5,544	7,608	5,162	5,926	5,926	5,353	5,926	5,489	4,971	7,348	5,162	70,341				
LPG(m ³ or kg選択)	284	361	272	186	100	66	164	98	0	0	0	0	1,532	2,710	57	2,779	55
金額	98,731	128,944	102,542	66,137	34,442	22,641	50,635	31,659	0	0	0	0	535,731	(2%削減)	103	1,058,455	51
昨年使用実績	311	364	306	301	144	98	244	310	176	86	171	288	2,779				
昨年金額実績	109,138	129,631	115,745	123,051	60,093	40,487	97,638	119,958	66,328	33,418	63,708	99,260	1,058,455				
灯油(ℓ)	503	984	222	0	134	0	0	0	0	0	220	587	2,650	2,935	90	2,995	88
金額	57,544	112,568	25,397	0	13,936	0	0	0	0	0	25,080	66,918	301,443	(2%削減)	87	345,555	87
昨年使用実績	583	710	458	0	0	200	0	0	0	0	331	713	2,995				
昨年金額実績	65,554	81,918	54,669	0	0	23,980	0	0	0	0	37,866	81,568	345,555				

*排出係数：0.483

次年度以降の目標

	2024年度	2025年度	2026年度	次年度取組内容
電気(Kwh)	前年実績 +20%以内	維持	維持	前年の取り組みを継続
ガソリン(ℓ)	維持	維持	維持	前年の取り組みを継続 安全運転の推進
軽油(ℓ)	維持	維持	維持	前年の取り組みを継続 安全運転の推進
水道(m ³)	2%削減	2%削減	2%削減	前年の取り組みを継続 漏水バトロール
LPG(m ³ or kg選択)	-	-	-	2023年8月ガス解約
灯油(ℓ)	2%削減	2%削減	2%削減	前年の取り組みを継続

2023年度	取組んだ内容	取組んだ内容	評価
電気	空調温度の適正化 長時間離席時電気機器の電源OFF 5S活動徹底とノーマル作業の定着	取組んだ内容	前年比6%増。7月末に空調設備をGHPからEHPに更新。長引く猛暑と相まって夏季は使用量が1.2倍にupしたが突出する程ではなかった。設備更新で今後コスト削減が見込まれる。
ガソリン	Eコドライブの啓発 自動車点検整備を定期的を実施。 不要なアイドリングをやめる。	取組んだ内容	前年比49%増/目標値未達成。ハイエースで本格的に活動が再開された一年。営業応援等が増えた分繁忙期(1~6月)の使用量は前年の2.5倍になった。
軽油	Eコドライブの啓発 車向定期点検整備の実施 不要なアイドリングをやめる。	取組んだ内容	出荷台数の減少でEHPの燃料消費量は前の年より10%減。営業活動が7月の水曜に戻ったことでトヨタが燃料は増加し前年比・目標比共に3%オーバー
水道	洗車、洗濯時に節水を心がける。 蛇口閉め忘れの確認 節水啓蒙ポスターの貼り替え	取組んだ内容	4月の使用量が前年同月比2.5倍となる。原因は洗車機水抜き作業時の人為的ミスによるもの。至急対策を講じた所内で再発防止を徹底した。前年比9%増/目標値未達成
LPG	空調の適正化 クールビズ、ウォームビズの実施 ブラインド調整でエアコン適正化	取組んだ内容	老朽化によりGHPを撤去(6月) 1~8月までの使用実績は何れの前年より大幅に削減された。
灯油	始業前や不在場所では暖房機器OFF 暖房の適度な温度設定と衣類での防寒対策	取組んだ内容	EHP寒冷地仕様車の導入により室温が安定し事務所7/17ヒーターが不要になった。又、暖冬や営業応援の増加で業務用ストーブの稼働率が減り大幅な削減に繋がった。前年比減/目標達成

2023年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2023年度目標	目標比(%)	2022年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	5,352	6,536	5,155	3,713	3,148	3,201	4,833	6,550	5,802	4,098	3,142	5,330	56,860	59,952	95	60,558	94
金額	221,932	237,544	18,998	145,210	126,078	121,831	153,230	187,610	170,719	141,520	119,480	162,451	1,806,603	1%削減	1,937,566	93	
昨年使用実績	6,266	7,746	6,534	5,182	3,513	3,401	5,701	5,889	4,242	3,638	3,528	4,918	60,958				
昨年金額実績	160,716	198,559	176,946	154,128	119,606	117,887	178,851	192,803	156,076	143,636	143,755	194,603	1,937,566				
ガソリン(ℓ)	352	377	497	254	249	326	248	173	273	353	300	382	3,784	3,261	116	3,261	116
金額	54,766	58,487	76,308	40,374	38,346	51,191	38,920	28,921	45,629	62,589	50,115	65,231	610,877	前年維持	537,900	114	
昨年使用実績	124	238	381	281	259	310	399	238	193	334	363	141	3,261				
昨年金額実績	21,290	29,744	64,005	50,022	42,276	56,444	65,936	38,640	32,129	55,564	58,496	23,354	537,900				
軽油(ℓ)	2,214	2,214	3,828	4,130	2,831	3,078	2,962	2,144	2,724	2,842	2,483	1,900	33,350	34,000	98	34,343	97
金額	222,062	222,062	382,399	417,690	284,337	310,502	303,900	232,099	305,405	326,482	267,529	199,282	3,473,749	1%削減	3,526,309	99	
昨年使用実績	2,430	2,494	3,778	4,241	3,021	3,093	2,706	1,822	2,307	2,795	2,967	2,689	34,343				
昨年金額実績	239,905	246,779	390,638	451,593	319,332	314,714	278,421	188,575	236,776	287,897	300,015	271,664	3,526,309				
水道(m ³)	46	46	50	50	44	44	66	66	45	45	41	292	271	108	274	107	
金額	13,783	13,783	14,245	14,245	13,552	13,552	16,093	16,093	13,667	13,667	13,205	13,205	84,545	1%削減	82,466	103	
昨年使用実績	42	42	48	48	48	54	54	54	41	41	41	274	274				
昨年金額実績	13,321	13,321	14,014	14,014	14,014	14,014	14,707	14,707	13,205	13,205	13,205	28,734	82,466				
LPG(m ³)	2.6	3.4	2	1.9	1.5	1.1	0.9	0.8	0.7	0.8	1.6	2.8	20	21	96	21	96
金額	2,673	2,899	3,209	2,587	2,536	2,395	2,211	2,424	1,322	1,261	2,362	2,855	28,734	1%削減	30,379	95	
昨年使用実績	2.6	3.4	3	3.1	1.9	1.5	0.8	0.4	0.5	0.7	1.1	2	21				
昨年金額実績	2,865	3,224	3,133	3,282	2,706	2,483	2,145	1,948	1,989	2,080	2,262	2,262	30,379				
灯油(ℓ)		380											605	720	84	720	84
金額		44,840											75,035	前年維持	89,903	83	
昨年使用実績	380												720				
昨年金額実績	46,189										19,470	24,244	89,903				
二酸化炭素排出量(kg-CO₂)															133,804		

*排出係数：0.451

次年度以降の目標

	2024年度	2025年度	2026年度	次年度取組内容
電気(Kwh)	1%削減	1%削減	1%削減	こまめな電源の管理、省電力型機器への更新をすすめていく
ガソリン(ℓ)	前年維持	前年維持	前年維持	無駄なアイドリングをしない、効率的なルートでの出張をしていく
軽油(ℓ)	1%削減	1%削減	1%削減	無駄なアイドリングをしない、効率的なルートでの出張をしていく
水道(m ³)	1%削減	1%削減	1%削減	無駄遣いを控え、しっかりと蛇口を閉める。漏水確認
LPG(m ³)	前年維持	前年維持	前年維持	無駄遣いを控える
灯油(ℓ)	前年維持	前年維持	前年維持	暖房用灯油の節約

2023年度 取組んだ内容及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	休憩時間・使用していない場所は、こまめに消す	土日の稼働日を減らしていることが大きな削減要因につながっている。
ガソリン	効率の良い出張、無駄なアイドリングの抑止	各地イベント復活に伴い、社用車の走行距離が増えたこともあり、増加に転じた
軽油	効率の良い出張、無駄なアイドリングの抑止	外回りの人数の一時的な減少もあり、削減できたが、今後は増加に転じそう。
水道	出っっぱなしの防止	展示、実演会が増え、機械の洗濯頻度が上がってしまい、使用量の増加につながった。
LPG	給湯の使用を抑える	電気ケトルの使用で給湯器の使用を抑えられた
灯油	暖房用灯油の節約	

2023年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2023年度目標	目標比(%)	2022年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	3,104	3,067	2,855	2,724	2,500	2,108	2,284	2,251	2,179	2,111	2,281	2,769	30,233	35,000	86	33,227	91
金額	137,635	115,258	104,288	96,475	82,310	67,762	69,261	64,702	60,329	65,040	69,134	81,894	1,014,088			1,066,983	95
昨年使用実績	3,486	3,572	3,270	3,363	2,873	2,296	2,460	2,265	2,141	2,375	2,644	2,644	33,227				
昨年金額実績	9,466	111,348	106,211	110,772	97,228	79,548	87,164	82,854	81,718	90,557	94,305	115,812	1,066,983				
ガソリン(ℓ)	276	354	378	67	206	211	357	123	158	352	419	168	3,069	5,200	59	1,822	168
金額	41,044	52,647	56,951	10,007	31,641	32,069	53,493	18,865	25,495	57,654	65,681	25,910	471,457			274,168	172
昨年使用実績	251	149	134	44	30	207	317	50	75	225	227	112	1,822				
昨年金額実績	36,886	21,931	20,398	6,815	4,623	31,223	48,740	7,674	11,316	33,891	33,977	16,694	274,168				
軽油(ℓ)	2,937	5,035	6,902	6,680	7,182	5,350	5,686	3,826	3,432	5,665	5,949	3,462	62,107	62,000	100	50,433	123
金額	291,843	475,525	701,473	668,675	697,563	547,287	588,061	364,416	387,750	651,760	603,851	376,440	6,354,644			5,059,361	126
昨年使用実績	1,235	1,465	4,959	6,843	6,202	4,460	5,077	3,192	3,501	5,108	5,336	3,054	50,433				
昨年金額実績	123,528	110,551	508,587	714,978	631,241	463,160	482,192	333,355	360,836	521,922	498,095	310,916	5,059,361				
水道(m ³)		85		86		96		110		100		88	555	650	87	705	80
金額		16,854		17,044		18,674		21,100		19,380		17,280	110,332			143,661	77
昨年使用実績		96		88		217		107		102		95	705				
昨年金額実績		20,080		18,704		41,576		21,990		21,331		19,980	143,661				
LPG(m ³ (kg選択))	614	596	378	136	14	104	430	430	352	62	234	492	3,842	3,500	110	4,196	92
金額	84,099	84,334	56,458	18,812	1,822	12,896	50,378	57,005	46,006	8,824	33,719	71,241	525,594			619,369	85
昨年使用実績	628	606	644	148	54	124	328	388	188	112	370	606	4,196				
昨年金額実績	92,837	86,191	94,391	24,195	9,496	13,770	51,725	59,806	27,797	16,481	53,805	88,875	619,369				
灯油(ℓ)	3,059	3,269	1,184	614						438	1,467	3,021	13,052	15,000	87	14,338	91
金額	272,811	287,452	105,889	61,805						41,098	140,598	298,387	1,208,040			1,324,476	91
昨年使用実績	3,460	3,404	2,320	533						490	1,388	2,743	14,338				
昨年金額実績	306,517	314,069	221,288	55,081						52,822	126,946	247,753	1,324,476			195,766	114

*排出係数：0.382

2023年度	取組んだ内容及び 評価		次年度以降の目標				次年度取組内容	
	取組んだ内容	評価	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
電気	エアコン等の適切な温度設定 不在場所等、不要な電気の消灯	昨年より削減することができた。皆に節電の意識が浸透しているように思われる。このまま節電に努めたい。	30,000	30,000	30,000			エアコン等の適切な温度設定 使用していない場所の消灯
ガソリン	エコドライブの徹底 定期的な車の点検整備 車内を適切な温度にする	昨年よりも大幅に増加したが、コロナ5類移行により営業活動が従来のペースに戻ってきたためと思われる。	3,000	3,000	3,000			エコドライブの徹底 アイドリングストップ 車内を適切な温度にする
軽油	エコドライブの徹底 定期的な車の点検整備 車内を適切な温度にする	昨年よりも大幅に増加したが、コロナ5類移行により営業活動が従来のペースに戻ってきたためと思われる。	62,000	62,000	62,000			エコドライブの徹底 アイドリングストップ 車内を適切な温度にする
水道	漏水チェック・節水の呼びかけ 蛇口の閉め忘れ防止	昨年よりも削減することができた。漏水や蛇口の閉め忘れ等がなく、普段の生活をする中で、各人が節水に取り組めた。	550	550	550			漏水チェック・節水の呼びかけ 蛇口の閉め忘れ防止
LPG	ウォームビズ・クールビズの実施 室内温度の管理	秋冬の使用量は減少しているが、その分夏場の使用量が増加しているため、熱中症に留意しながら削減に努めたい。	3,800	3,800	3,800			ウォームビズ・クールビズの実施 室内温度の管理
灯油	暖房器具の適切な温度設定	昨年よりも削減することができた。暖房器具をこまめに消すなど、皆で取り組めた。	13,000	13,000	13,000			暖房器具の適切な温度設定

2023年度 岡山営業所 環境活動報告

作成日： 2024年3月7日
作成者： 福井 恵美子

2023年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2023年度目標	目標比(%)	2022年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	1,279	1,502	1,093	1,013	856	781	1,000	1,047	1,117	799	2,510	5,234	18,231	12,890	141	13,153	139
金額	65,849	61,188	52,620	53,575	47,656	44,760	48,156	46,803	47,770	44,083	94,913	175,507	782,880	2%削減		653,821	120
昨年使用実績	1,542	1,521	1,285	1,024	869	837	1,057	983	1,056	741	958	1,280	13,153				
昨年金額実績	60,160	60,073	55,813	51,143	47,926	46,643	52,565	50,461	55,845	48,782	56,383	68,027	653,821				
ガソリン(ℓ)	257	169	434	463	151	212	495	222	301	187	217	128	3,236	2,812	115	2,818	115
金額	38,324	25,142	64,360	68,700	22,408	4,950	74,302	35,134	48,569	31,028	34,079	19,638	466,634	2%削減		424,417	110
昨年使用実績	233	64	187	109	100	306	267	312	282	218	279	412	2,818				
昨年金額実績	34,322	9,417	28,487	16,868	15,359	46,172	40,638	47,623	42,453	40,140	41,733	61,205	424,417				
軽油(ℓ)	1,947	4,118	4,476	4,393	4,401	4,353	4,310	2,719	3,142	4,355	4,187	4,580	46,981	37,400	126	37,585	125
金額	194,126	424,092	443,085	444,034	438,724	442,506	433,992	282,487	360,787	495,602	449,217	507,454	4,916,106	0.5%削減		3,804,710	127
昨年使用実績	1,922	2,773	3,720	4,987	4,063	3,130	3,529	1,460	2,074	3,269	3,571	3,087	37,585				
昨年金額実績	189,195	271,429	382,161	525,998	433,432	317,022	371,337	151,050	209,887	338,917	358,126	316,156	3,864,710				
水道(m ³)	15	10	10	11	11	18	18	20	20	22	22	98	98	99	99	99	99
金額	2,997	2,585	2,567	2,667	2,667	3,245	3,245	3,410	3,410	3,784	3,784	3,355	22,043	現状維持		18,725	118
昨年使用実績	19	13	13	15	15	19	19	18	18	18	18	99	99				
昨年金額実績	3,327	2,832	2,832	2,997	2,997	3,327	3,327	2,997	2,997	3,245	3,245	3,245	18,725				
LPG(ℓ or kg選択)	0.8	0.7	0.5	0.8	0.6	0.7	0.4	0.4	0.4	0.6	0.8	0.1	6.9	7.5	92	7.5	92
金額	2,703	2,620	2,469	2,730	2,556	2,620	2,369	2,360	2,220	2,294	2,466	1,928	29,335	現状維持		30,255	97
昨年使用実績	0.7	0.8	0.8	0.6	0.7	0.4	0.3	0.4	0.4	0.8	0.7	0.7	7.5				
昨年金額実績	2,487	2,567	2,567	2,406	2,597	2,382	2,295	2,382	2,556	2,730	2,643	2,643	30,255				
灯油(ℓ)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	585	585	94	585	94
金額	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	67,080	現状維持		67,080	95
昨年使用実績	195												585				
昨年金額実績	22,230												67,080				
													合計	152,132		117,980	

*排出係数：0.536

次年度以降の目標

	2024年度	2025年度	2026年度	次年度取組内容
電気(Kwh)	62,640	61,390	60,160	室内の温度調整をこまめに行う。声を掛け合って節電の意識を高める。照明も細かく設定できるので必要のないところはこまめに消すなど節電に努める。新営業所での使用が始まったばかりなので使用量は12~2月の3ヶ月の平均値で算出。2024年は様子を見たい。
ガソリン(ℓ)	3,180	3,120	3,060	アイドリングストップや効率の良い運転を心がける。イベント等も多く社有車の使用が多くなり、使用量がコロナ前の水準に戻っているため、2023年の使用量で算出。
軽油(ℓ)	42,750	42,530	42,310	アイドリングストップや効率の良い運転を心がける。営業のトラックが足りず10月末日より度々トラックをレンタルしているため使用量が増えると思われる。しばらくは同じ状況が続くため、2023年の使用量で算出。
水道(m ³)	100	100	100	効率よく洗車し節水を心がける。イベント等も増え洗車することも多くなるに 加え、派遣社員を含め人数が増えているので使用量が増えると思われる。100㎡で様子を見たい。
LPG(ℓ or kg選択)	0.0	0.0	0.0	新営業所はオール電化のため使用はなし。
灯油(ℓ)	550	550	550	無駄遣いはしない。ストーブを使用する場所が倉庫のみになったため使用量が減ると思われるが、わからないため2023年の現状維持。

取組んだ内容及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	使っていないところの電気をこまめに消し、室内の温度もこまめに調節するようにした。12月より営業所が移転し所内の照明等がLEDにかわりより細かく調整できるようになった。	室内の温度調整をこまめに行うことで、電力消費の削減に貢献できた。また、照明のLED化により消費電力が減少し、コスト削減に貢献した。
ガソリン	効率の良い運転を心がける。	コロナが5期に変更になりイベント等も一 気に増加し営業活動量が増えた。
軽油	効率の良い運転を心がける。	コロナが5期に変更になりイベント等も一 気に増加し営業活動量が増えた。
水道	節水を心がける。	イベント等も増えて洗車することも多くなったが、効率よく洗車し無駄遣いはしていないの現状維持できた。
LPG	使用頻度が少ないため、これからも無駄のないようにする。	営業所移転のため12月の使用量が減った。 新営業所はオール電化のためガスの使用はなし。旧営業所も他のものとあわせて2月 末で解約。
灯油	こまめに温度調節する。	旧営業所ではエアコンと併用し、ストーブはフル活用してしたが新営業所では事務所内でストーブを使わないため、灯油の使用量が減った。現在はストーブは倉庫のみで使用。

九州営業所 環境活動報告

2023年度

作成日： 2024年1月30日
作成者： 熊谷 秀之

2023年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2023年度目標	目標比(%)	2022年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	5,105	5,598	4,715	4,520	3,600	4,302	5,312	6,400	5,572	5,266	4,262	4,681	59,333	57,000	104	59,959	99
金額	186,470	161,020	144,546	145,086	117,999	130,683	146,475	158,299	140,802	155,198	134,649	140,676	1,761,903			2,061,308	85
昨年使用実績	5,243	5,115	5,285	4,568	4,092	4,330	5,453	6,451	6,048	5,033	4,063	4,278	59,959				
昨年金額実績	162,290	160,104	166,255	154,750	145,903	151,826	180,190	209,267	202,252	182,791	161,944	183,736	2,061,308				
ガソリン(ℓ)	304	257	318	107	177	286	336	262	243	84	222	265	2,861	2,300	124	2,207	130
金額	45,655	38,615	47,171	15,895	26,411	42,762	50,965	40,832	40,174	13,710	35,006	40,817	437,913			333,422	131
昨年使用実績	370	168	244	173	89	51	202	106	173	202	303	126	2,207				
昨年金額実績	55,330	24,920	37,382	26,796	13,644	7,685	30,761	16,220	26,034	30,302	45,687	18,661	333,422				
軽油(ℓ)	2,116	3,729	3,814	3,449	3,976	4,382	3,120	2,626	3,456	3,640	3,396	2,886	40,590	43,500	93	38,701	105
金額	222,404	388,836	414,242	362,477	424,630	453,849	339,124	300,815	404,351	426,689	376,652	311,400	4,425,469			3,085,295	143
昨年使用実績	2,829	3,140	3,737	4,590	3,514	5,582	3,651	3,161	3,274	3,602	3,330	3,151	49,561				
昨年金額実績	294,246	327,780	413,523	504,144	382,013	599,572	403,459	339,474	346,228	391,334	353,247	330,673	4,685,693				
水道(m ³)	13	12	18	12	13	10	13	17	14	49	15	18	204	230	89	174	117
金額	4,780	4,460	6,410	4,460	4,780	3,810	4,780	6,080	5,100	17,400	5,439	6,413	73,912			63,220	117
昨年使用実績	14	16	12	13	15	12	17	20	13	16	12	14	174				
昨年金額実績	5,100	5,760	4,460	4,780	5,430	4,460	6,080	7,050	4,780	5,760	4,460	5,100	63,220				
LPG(ℓ or kg選択)													0				
金額													0				
昨年使用実績													0				
昨年金額実績													0				
灯油(ℓ)	200	200									200		400	550	73	25,400	2
金額	24,800	24,800									25,000		49,800			49,600	100
昨年使用実績	200											200	25,400				
昨年金額実績	24,800											24,800	49,600				
													136,956			143,943	95

*排出係数：0.382

次年度以降の目標

	2024年度	2025年度	2026年度	次年度取組内容
電気(Kwh)	59,000	58,900	58,700	営業は時間内の仕事終了をなるべく心がける。
ガソリン(ℓ)	2,800	2,780	2,760	効率的な出張を心掛ける。宿泊推奨。
軽油(ℓ)	40,500	40,250	40,000	前年同様効率の出張を心掛ける。宿泊推奨。
水道(m ³)	200	200	200	前年同様に取り組む。
LPG(m ³ or kg選択)				
灯油(ℓ)	400	400	400	必要などきのみ使用。

取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	・休憩時間は消灯(事務所、倉庫内)	消灯は意識できてきている。定期的な換気により空調効率悪い。活動量が増し、時間外での使用が増えた。
ガソリン	・アイドリングを控える。時間に余裕を持ち下道も使う。高速道路上では給油を控える。	活動量が増し、出張が増加している。
軽油	・アイドリングを控える。時間に余裕を持ち下道も使う。高速道路上では給油を控える。	活動量は増したが、宿泊出張が増えた。
水道	・機械の洗車は極力相手先で行う。	節水取り組みている。
LPG	・使用していない。	
灯油	・必要などきのみ使用する。	温度管理が必要などきのみ使用。

2023年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2023年度目標	目標比(%)	2022年度実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	2,318	1,770	1,402	1,065	1,581	1,577	2,118	2,438	2,149	1,246	1,154	1,489	20,307	19,000	107	22,148	92
金額	84,834	59,961	54,673	50,514	47,890	54,529	62,682	67,205	63,272	53,386	59,258	80,341	738,545	(前年維持)		875,162	84
昨年使用実績	2,453	2,702	1,872	1,028	1,046	1,255	2,239	2,662	2,225	1,332	1,332	2,116	22,148				
昨年金額実績	82,495	87,942	73,278	54,686	55,878	60,059	82,456	92,616	83,083	58,916	63,412	80,341	875,162				
ガソリン(ℓ)	73	74	58	58	22	21	29	0	75	62	25	96	535	#VALUE!		503	106
金額	11,017	11,045	8,550	0	3,275	3,105	4,320	0	13,344	10,149	3,922	16,257	84,984			76,160	112
昨年使用実績	106	50	64	26	25	31	49	0	44	41	36	31	503				
昨年金額実績	15,819	7,369	9,912	3,991	3,852	4,671	7,452	0	7,012	6,165	5,385	4,532	76,160				
軽油(ℓ)	1,823	1,900	2,924	2,661	2,211	2,565	2,488	2,473	2,203	2,099	2,364	1,919	27,630	#VALUE!		27,358	101
金額	185,778	190,798	294,128	267,443	225,594	261,186	264,806	275,305	252,521	241,308	263,289	201,944	2,924,100	(2%削減)		3,085,295	95
昨年使用実績	1,819	2,306	2,744	2,780	1,840	2,268	2,485	2,445	2,270	2,039	2,126	2,236	27,358				
昨年金額実績	180,901	228,815	289,685	295,478	194,689	232,936	265,494	260,369	233,223	208,970	217,966	226,486	2,895,012				
水道(m ³)		17		25		14		15		11		15	97	90	108	98	99
金額		8,162		10,146		7,772		7,869		7,482		7,869	49,300	(前年維持)		48,750	101
昨年使用実績		22		16		14		15		16		15	98				
昨年金額実績		9,308		7,966		7,772		7,869		7,966		7,869	48,750				
LPG(m ³)	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1	1	70	1	58
金額	2,145	2,145	2,073	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	1,815	1,815	1,815	1,991	23,799	(前年維持)		24,772	96
昨年使用実績	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	2,472				
昨年金額実績	2,192	2,192	2,128	2,064	2,064	2,000	2,000	2,066	2,000	2,000	2,000	2,066	24,772				
灯油(ℓ)	40	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	100	95	105	100	100
金額	4,800	2,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,680	11,880	(前年維持)		11,880	100
昨年使用実績	40	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	100				
昨年金額実績	4,800	2,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,680	11,880				
合計	4,800	2,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,680	11,880			93,372	100

*排出係数：0.382

次年度以降の目標

	2024年度	2025年度	2026年度	次年度取組内容
電気(Kwh)	19,000	18,000	17,000	効率の良い電気利用 無駄な電気使用減
ガソリン(ℓ)				
軽油(ℓ)	1,400	1,350	1,300	行動計画による、無駄な出張減 エコ運転の実施
水道(m ³)	90	85	80	洗濯時の無駄水をなくす
LPG(m ³ or kg選択)	1	1	1	ガスの利用減
灯油(ℓ)	95	90	85	時間帯による使用 温度管理による使用

2023年度 取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	効率の良い電気使用	人がいない状態での点灯は控えている
ガソリン		
軽油	フォークリフトのエコ運転	定期点検の実施
水道	効率の良い水道利用	実働の増加に伴う機械を洗う機械が増えた。
LPG	使用減	ガス利用の減
灯油	冬場の温度管理に必要なは時のみ使用	朝、夕温度管理による使用のため

(15) 代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年5月より新型コロナウイルス感染症が第5類へと移行し、完全な終息には至っていませんが、社会活動はコロナ以前に近い日常へと戻りました。当社としても同様に企業活動を進めております。コロナ禍では控えていた展示会や実演会も行われるようになり、それに伴い営業活動も活発化しています。車を使っただけの訪問が増え、ガソリン使用量がコロナ以前の水準に戻るといった結果も見られました。今後は、コロナ禍で経験した営業活動を活かし、顧客に寄り添いながら省資源で効率的な営業活動を追求していきたいと考えています。

開発部門においては、低燃費製品の開発目標を掲げ、作業時間の短縮やCO₂排出削減を進めています。また、環境保全型農業の支援に貢献する機械の製品化も進めており、土づくりの観点から化学肥料を抑制し環境にやさしい農業を支援する製品を提案できていると評価できます。今後も将来を見据え、積極的に脱炭素社会につながる製品づくり、環境保全型農業に則した製品づくりに取り組んでいきたいと思っております。

新設された塗装工場については順調に稼働していること、塗装焼き付け温度の低下によりLPGの使用量が減少したことで全体としてもCO₂排出量が減少するなど、一定の成果が出ていることを評価しています。

当社は環境活動の一つとして、本社周辺の社有林を里山として保全活動をしながら、生息するオオムラサキをはじめとした様々な昆虫や野鳥の保護に取り組んでいます。しかし、ここ数年オオムラサキの個体数が減少しており、飛び交う姿が以前ほど見られなくなっています。これには温暖化による気温や地熱の上昇により蛹が羽化できないなど影響が出ていると考えられます。当社はオオムラサキの姿を自然環境のバロメーターとして活動していますが、温暖化は当社の本業にもかかわる農作物にも大きな影響を及ぼしています。環境保全型農業を実現するため、製品開発、生産活動、環境活動を通じて、社員一人ひとりが地道に出来ることを積み重ね目標達成を目指します。